

日本での生活にやっと慣れたと思ったら、もう帰る時期になり、名残惜しい気持ちでいっぱいです。五箇月という短い時間でしたが、その分後悔のないように様々な経験をしようと最善を尽くして生活してきました。

学業面では留学生向けの科目を中心に受講し、正規科目も一つ履修しました。留学生向けの科目の中では、自分のウェブサイトを作成する「日本語事情演習 2A」、実生活でよく使う漢字を学ぶ「中上級 A 漢字」、日本での就職について計画を立てることができた「日本事情演習 3A」が特に印象に残っています。韓国での授業と比べて、日本では発表や自分の意見を述べる授業が多かったため、たくさん練習しながら成長したと感じています。正規科目では「社会政策論 I」を履修しましたが、日本の社会保障制度について学ぶことができて良かったです。難しい漢字が多くて苦勞しましたが、予習と課題で毎週リアクションペーパーを書きながらどんどん慣れることができました。

学業以外では、漫画研究部に入り、対面交流会で共通の趣味を持つ友達と話したり絵を描いたりして交流することができました。学期中に時間を見つけて、寮の友達と名古屋、横浜、ディズニーシー、札幌に旅行しました。また、花見や山王祭、隅田川花火大会を見物し、留学生対象のプログラムで茶道体験も行うなど、日本文化を直接体験することができました。



新しく公開されたアニメ映画を見たり、マクドナルドやスターバックスの季節限定メニューを楽しんだりしながら、日本での生活で小さな幸せを感じました。日本に来た時から日本での就職を考えていたため、授業で学んだ内容を基に就職活動も経験してみました。興味のあった会社の説明会やグローバル就職博覧会に参加し、いくつかの企業に応募して筆記試験や最終面接まで進みました。最終結果はまだ出ていませんが、良い結果があって来年また日本に戻ってこれればと思います。

最後にお世話になった方々にお礼を申し上げます。指導教授の棚橋先生、授業での萩原先生、三宅先生、小林先生、グ先生、ビンデリア先生、王先生、先生方の温かいご指導と関心のおかげで、より一生懸命勉強し生活に適応することができました。そして、国際課や寮の関係者の皆様のおかげで、安全に問題なく留学生活を終えることができました。同じ時期に交換留学生として過ごした学友の皆さんにも感謝の気持ちを伝えたいです。おかげさまで、人生で最も多くの出来事があった半年と言えるほど、多様な経験をし学び、私を構成する貴重な基盤となりました。ありがとうございました。

